



# 平成 29 年 10 月の園だより



## 健康診断

19日(木) 耳鼻科 … 乳児組

26日(木) 内科・眼科… 全園児  
耳鼻科… 幼児組

内科、耳鼻咽喉科、眼科の健康診断があります。気になることや園医にたずねたい事などありましたら、事前に担任までお知らせください。

## みみょうフェスティバルのお知らせ

今年の作品展は、子どもたちが「おもしろい!」「やってみたい!」と興味をもって意欲的に取り組んできたものを展示します。今年度のテーマは“みんなであそぼう みみょうひろば”です。楽しい展示になるように計画しています。どうぞ第二みみょう保育園5階ホールに遊びに来てくださいね。

物品販売やみみょう特製のおいしい食べ物もたくさん用意しています。ご家族おそろいでお楽しみください。また保護者の皆様には売り場のお手伝いをさせていただきたいと思っています。どうぞご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



日時 10月14日(土)  
10:00~14:00  
場所 第二みみょう保育園

消さないで  
あなたの心の  
注意の火



広島市南消防署  
警防課 救助係

## 「子どもの意欲を育てる関わり」

木々の葉も少しずつ赤や黄色に色づきはじめ、さわやかな秋空の下で子どもたちは秋の訪れを感じています。

9月はじめの保育参観には、沢山の方に参加していただきありがとうございました。乳児クラスではお家の方に抱っこされながらも大好きな歌の時には全身をゆらゆら動かして喜ぶ姿や、ごっこあそびの場面では素材で作った物を見立てて「どうぞ」などとやりとりを楽しむ姿が見られました。幼児クラスでは、友だちと協力し、一緒に考え、あそびから学びへとつながる場面もあり、様々な姿を通してお子さんの成長を感じていただけたのではないかと考えております。

保育参観後に行われました講演会では臨床心理士の新宅博明先生をお迎えして“子どもの意欲を育てる”をテーマに保護者の方へお話しいただきました。0歳児の赤ちゃんから5・6歳の年長児、そして、思春期までも見通した子育てで最も大切なことは『大好きな保護者の方との愛着関係や信頼関係を築くこと』と伺いました。講演会終了後も保護者の方からたくさんのご質問をいただき、皆さんで同じ悩みが共有できてよい機会になりました。

側にいる大人は赤ちゃんの思いに寄り添い、「おなかすいたね」「眠たくなったの?」「抱っこしようね」と赤ちゃんの目線になり優しく語りかけ、赤ちゃんの心を通い合わせることで、愛着関係や信頼関係がより深まります。そして、大好きな人の存在が最も子どもの育ちを支えています。安心できる環境の中で他者との関係を築いたり、はいはいをしたりよちよち歩いて自分の関心ある場所へ行ってみたり、興味がある物を触ろうとする、この“行ってみよう”“触ってみよう”という気持ちが“意欲”の始まりです。このとき、赤ちゃんの興味・関心を側にいる大人が「おもしろいね」「嬉しいね」と言葉にして伝えたり、目線を合わせてにっこりほほ笑んだりすることが最も大切です。

また、1・2歳児さんでよく見られることですが、何でも大切そうにポケットに入れることがあります。大人から見ると「なんでこんなものを…」と思うこともありますが、子どもにとっては園庭で見つけた小石や葉っぱも大切な宝物なのです。乳児ク

ラの子どもたちは、いつも誇らしそうに見つけた物を小さな手でぎゅっと持ち、大好きな担任に見せている心温まる場面をよく見かけます。そんな時、担任は子どもの思いに寄り添い、心と心が通い合うような関わりや言葉がけをしているのです。

子どもたちの「不思議だな」「やってみたい」と思うあそびや素材などさりげなく用意することで驚きや発見があり、さらにもっとやってみようとする意欲も高まっていくのではないのでしょうか。子どもの育つ過程で何より大切なことは、大好きで信頼している大人との関係を築くこと、そして、あそびたくなる環境を用意することです。そういう環境の中で過ごすことにより、“なんでもやってみたくなる子”“自分で考えて行動できる子”へと育っていくのではと考えています。

毎日、お仕事や家事、また子育てなどでお忙しくされていることと思いますが、保護者の方と一緒に子ども一人ひとりの育ちを共に見守り、関わりながら子どもの育ちを支えていければと思っています。

今月は“東雲みみょうフェスティバル”があります。大好きなお家の方と一緒に遊べる展示を計画したり、3・4・5歳児の子どもたちは、ダンボールで暗い空間を作って、その中でライトや光る素材を使い、光と影が変化するあそびを発見しています。また、自分で選んだ空き箱や太さの違う紐、新聞紙や広告など身近な素材を使って入ってみたくなるような空間作りを楽しみ、毎日変化しわくわくする環境もどんどん広がってきています。5歳児にもなると友だちと一緒に考え、話し合い、協同的に遊び楽しさを感じている様子です。生き物にも興味を持ち、自分たちで育てながらそこから遊びが繋がりを、生き物について調べたり、製作あそびに発展するなど主体的に遊んできた様子を展示して楽しい作品展・バザーを開催する予定です。ぜひ、ご家族皆さんでお越しください。

## 子育て応援コラム

ゆれながら  
前へ進まず  
子育ては  
お前がくれた  
木馬の時間

歌人 俵 万智  
歌集 『プーさんの鼻』より



子育ては、うまくいくことばかりではないですね。でもうまくいかない時も子どもはちゃんと育っているのです。

秋の夜長、少しの時間、絵本の読み聞かせを通じて親子の触れ合いの時間を持ってみませんか?きっとほかほか心が温まり落ち着くことでしょう。



## 仁保姫神社のしし舞い

今を去ること約400年前仁保島村一帯に悪病がはびこり、村人が悪霊を追い払うために獅子を作り、一軒一軒まわったといういわれから、秋祭りの頃に行われるようになったといわれています。

当園にも17日(火)に町内の皆さんと仁保姫神社の獅子がやってきます。